

高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の
てん ねん き ねん ぶつ
天然記念物

かんけい じょうほう 関係のある情報

【場所】 笠岡市吉田
【時代】 —
【指定年月日】 昭和31年11月1日
【所有】 稲田山神社
【見学】 可



えひめあやめじせいち

エヒメアヤメ自生地

かんけい しまち
関係する市町

かさ おかし
笠岡市



てんねんきねんぶつ この天然記念物について

エヒメアヤメは、アヤメ科アヤメ属に属し、正式な名前をタ
レユエソウともいう^{かれん}可憐な植物です。低い山に生える多年草
で、春になると紫^{むらさきいろ}色の花をつけます。花期は短く、一週間ぐ
らいで花が枯れます。

草丈は10～30cmと可愛らしく、明治30年に愛媛県で確認さ
れたためにこの名がつけました。その後、西日本の各地で
自生地が発見され、現在では、愛媛県・広島県・山口県・佐賀
県・宮崎県の自生地が国指定天然記念物となっています。

市内では、かつては吉田のほかにも自生していた場所があっ
たそうですが、今ではその多くは確認できなくなっています。
現在確認されている範囲^{はんい}では、当地域^{とうちいき}が日本で最も東の
自生地^{じせいち}、すなわち、世界においても東限地帯ということになる
ため、学術的に見ても貴重な自生地^{きちよう じせいち}といえます。